保存版
※大切に保管しておきましょう。

大刀洗町 洪水ハザードマップ

TACHIARAI TOWN FLOOD HAZARD MAP

もしもの時に備えよう！

洪水やその他の災害に備えて、避難場所や家族の連絡先を事前に確認しておきましょう。

1 家族との連絡

我が家の避難場所	家族の集合場所	災害時の緊急連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の連絡先	携帯電話番号

2 避難場所

校区名		避難所名	所在地	収容人数	電話番号
指定避難所	大堰校区	①大堰小学校	守部465	300	0942-77-0170
		②大堰交流センター	守部504－1	150	0942-23-2014
		③中央公民館	冨多819	200	0942-77-2670
		④大刀洗町役場	冨多819	200	0942-77-0101
		⑤ドリームセンター	冨多819	500	0942-27-7059
		⑥ぬくもりの館	冨多819	100	0942-77-4877
	本郷校区	⑦本郷小学校	本郷4669－1	350	0942-77-0036
		⑧大刀洗中学校	本郷515	600	0942-77-0075
		⑨ふれあいセンター	本郷2848	150	0942-23-2211
	大刀洗校区	⑩大刀洗小学校	上高橋755－1	400	0942-77-0203
		⑪南部コミュニティーセンター	上高橋734－1	150	0942-23-2215
	菊池校区	⑫菊池小学校	山隈1344－3	400	0942-77-1544
		⑬就業改善センター	山隈1711－3	150	0942-77-3891
福祉避難所		⑭ふれあいの宿さざえ	高樋1245－1	3	0942-77-0877
		⑮聖ヨゼフ園	山隈374－1	2	0942-77-1393

※指定避難所　災害による危険がある方が、災害の危険が無くなるまで避難をする施設です。
※福祉避難所　災害による危険がある方で、指定避難所での生活が困難な方が避難をする施設です。

洪水ハザードマップと過去に作成された防災ハザードマップは大刀洗町のホームページでも確認できます

マップのお問い合わせ先　大刀洗町役場建設課　TEL 0942-77-6204

3 災害時の緊急連絡先

救急・救助・火事 119番

事件・事故 110番

災害用伝言ダイヤル 171番

※災害用伝言ダイヤル「171」とは？
災害発生時に局番なしの「171」にダイヤルすると、伝言の録音や再生ができるサービスです。
災害時は、電話がつながりにくい場合があります。家族の安否確認などに利用しましょう。

緊急連絡先

役場	大刀洗町役場	0942-77-0101
	菊池連絡所	0942-77-0239
警察署	小郡警察署	0942-73-0110
消防署	三井消防署	0942-72-5101
	三井消防署 三井出張所	0942-77-1000

ライフライン

電気	九州電力(株) 久留米営業所	0120-986-209
	九州電力(株) 甘木営業所	0120-986-208
上水道	三井水道企業団	0942-72-5106
下水道	大刀洗町役場 建設課	0942-77-6204
電話	NTT西日本(株)	113または0120-444-113

4 災害情報の収集について

テレビ・ラジオ
テレビやラジオ等で最新の気象情報や洪水予報、避難勧告等を確認しましょう。

インターネット
スマートフォン、パソコン、携帯電話を利用して、インターネットで最新の情報を確認しましょう。

❶気象情報・注意報
- 福岡管区気象台

❷雨量・水位情報など
- 国土交通省 川の防災情報
- 福岡県 河川防災情報
- 福岡県 防災ホームページ
- 大刀洗町 防災リンク集

❸大刀洗町からのお知らせ
- 大刀洗町 ホームページ

❹福岡県 防災メール・まもるくん
※災害時の情報等をメールでお知らせするサービスです。

登録方法
mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp
へ空メールを送信し、その後返信されたメールの内容に従って登録して下さい。

- 福岡県 防災メール・まもるくん

5 気象警報・注意報および避難勧告等について

大雨が降っているときは、洪水予報や避難勧告等に十分注意し、身の危険を感じたらすぐに避難場所へ避難をしましょう。

気象警報等と避難行動の目安

緊急度：低 → 高

	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
大雨		大雨注意報	大雨警報		大雨特別警報
洪水		洪水注意報	洪水警報		
川の水位		氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	氾濫の発生
氾濫情報		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
土砂災害				土砂災害警戒情報	
避難情報			避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告 避難指示(緊急)	災害発生情報

みなさまの行動

洪水に備える
テレビ・ラジオ・インターネットで気象情報を確認し、周囲の状況や雨の降り方に注意しましょう。

避難行動の確認
ハザードマップで避難場所、避難経路、持ち物を確認し、避難に備えておきましょう。

危険な場所から高齢者等は避難
避難に時間のかかる方や身の危険を感じた方は避難を開始しましょう。その他の方は、避難に向けて準備を始めましょう。

危険な場所から全員避難
避難勧告が発令されたら危険な場所から避難しましょう。
避難が遅れ、避難の際に危険のある方は、頑丈な建物の上の階に避難しましょう。

命を守る
逃げ遅れた場合は、少しでも安全な場所に避難し、命を守る行動をとりましょう。危険があるときは、無理をせず、救助が来るまで安全な場所で待機しましょう。

非常持ち出し品の準備

避難に備え、非常持ち出し品を準備しておきましょう。

- 懐中電灯、携帯ラジオ＋予備乾電池、非常食
- タオル、貴重品、救急セット（常備薬）、衣類・下着類
- ロープ、ちり紙（ティッシュ、トイレットペーパー）、ドライシャンプー、ローソク・マッチ
- 育児用品、ヘルメット、軍手、携帯ナイフ
- 石鹸、使い捨て食器
- マスク・体温計・消毒液

避難所でのウイルス感染症対策

❶親戚・知人の家への避難
避難所が過密な場合は、親戚や知人宅への避難も考えましょう。

❷健康状態の確認
定期的に体温測定を行い、健康状態を確認しましょう。

❸手洗い、咳エチケット
避難所では頻繁に手洗いをし、マスクも着用しましょう。

❹換気とスペース確保
換気を十分に行い、避難者同士の間隔を十分にあけましょう。また、発熱等の症状のある方のための専用スペースを確保しましょう。

6 自主防災組織および防災訓練について

洪水が発生した場合、交通網の寸断や二次災害の発生などにより、防災機関（町・消防・警察）が充分な対応ができない場合があります。そこで災害発生時は、住民のみなさまでお互いに助け合うことが大切です。

自助　自分の身は自分で守る
共助　自分たちの地域は自分たちで守る

自主防災組織について

町内には、4校区（大堰、本郷、大刀洗、菊池）に自主防災会があります。町及び消防署と協力し、平常時及び災害時に様々な活動をしています。

平常時の活動

❶防災知識の普及
- 防災マップの作成
- 防災学習会、研修会等の開催 など

❷防災訓練の実施
- 情報の収集、伝達訓練
- 消火訓練
- 避難訓練
- 救出、救護訓練
- 炊き出し訓練 など

❸地域内の安全点検
- 危険箇所の確認
- 燃えやすいものの放置状況確認
- 倒れやすいものの点検 など

❹防災資材の整備・点検
- 消火器、ヘルメット、ハンマー等の作業用具管理
- 非常食品、救急医療薬等の管理
- 防災資材等の整備、点検

災害時の活動

❶情報収集・伝達
町などと協力し、災害に関する正しい情報を住民に伝達する。

❷初期消火活動
出火防止の為の活動や消火器、消防水利の確保、バケツリレーなどによる初期消火活動

❸救出救護活動
負傷者への応急手当、救護所への搬送など

❹避難誘導
地域住民の安否確認、避難所への誘導、避難時に助けが必要な方の援助など

❺食料・物資関係
町の給水、炊き出し、救援物資配布など

防災訓練

大刀洗町では2年に1回小郡市と合同で地域防災訓練を実施しています。訓練では防災関係機関や住民のみなさまに参加いただき、災害から身を守るため、倒壊家屋救出救助訓練・救護訓練・水防訓練・炊き出し訓練等を実施しています。

7 洪水への備え

❶家の周りの点検
大雨に備え日ごろから家の周りを点検しておきましょう。
- 排水溝が詰まっている場合は掃除をしましょう。
- 風に吹き飛ばされ易いものは撤去しておきましょう。

❷家への浸水を防ぐ
家庭にあるものを使って、家への水の侵入を防ぎましょう。
- ゴミ袋やポリタンクに水を入れ、水の侵入口に並べる。
- プランターをつなげて、水の侵入口に並べる。
- 板と土のうで止水板を作る。

❸避難時の注意
避難は、動きやすい格好でしましょう。
- 持ち物はリュックに入れ、手を自由にしておきましょう。
- 運動靴をはきましょう。
- 車での避難はやめましょう。30cmの浸水深で走行が困難になります。